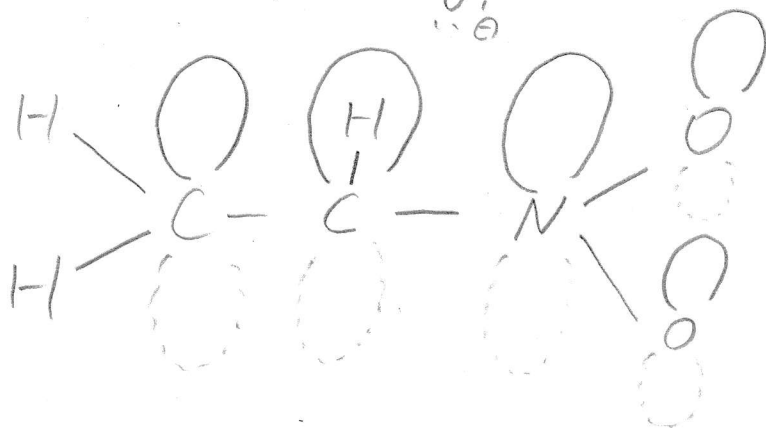
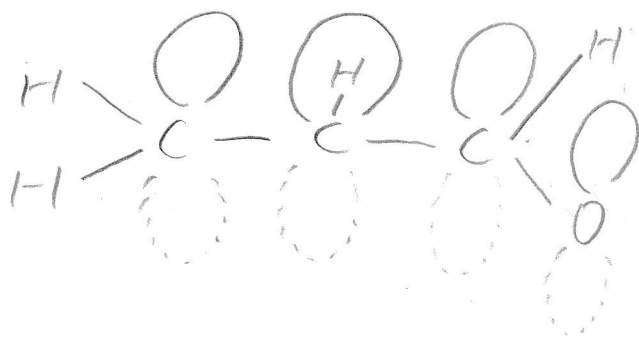
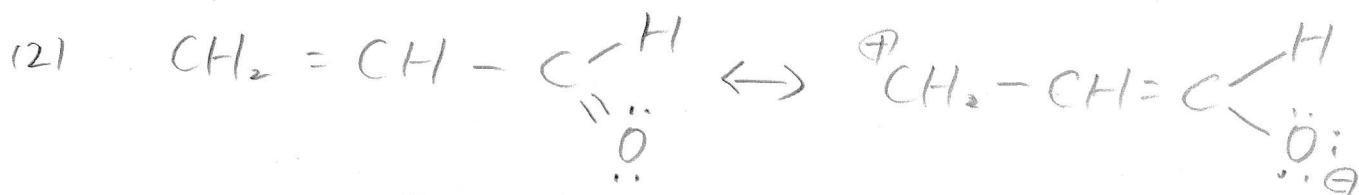
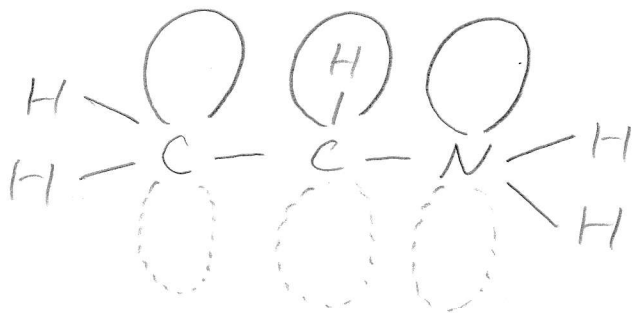
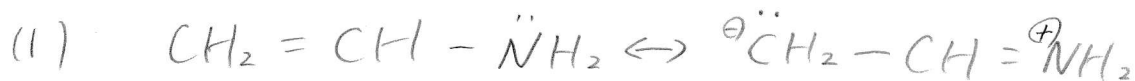


伍



※ π 結合を形成できるのは、Cを中心とした混成軌道を形成できるものである。
試験では C, N, O 原子しか扱わないので、
さらに着目すると schön。

※ 共鳴構造式は、 e^- の位置 どれにより 取り得る物質の姿を
列挙し 関連つけたものであるのに対し、オビタル表示は、1つの図に
 e^- が高確率で存在する場を表記したものであり、各物質につき1つだけである。